

令和元(2019)年度
川崎市立図書館利用者アンケート
報告書

川崎市教育委員会

目 次

I	調査概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の方法	3
3	調査項目の概要	3
4	回収状況	3
5	報告書の見方	3
II	調査回答者の属性	5
1	年齢	7
2	居住地	7
3	居住区	7
4	主な仕事	8
5	仕事以外に行っていること（仕事以外の属性）	8
III	調査結果	9
1	利用頻度	11
2	利用の曜日	14
3	利用時間帯	17
4	滞在時間	20
5	利用目的	23
6	今後の図書館に必要と考えること	26
7	単純集計表	33
IV	調査票	43

I 調查概要

1 調査の目的

市立図書館のあり方についての検討を行うにあたり、図書館に対する市民ニーズ等を的確に捉え、今後の図書館サービス等の方向性を示すため、川崎市立図書館利用者アンケート調査を実施した。

2 調査の方法

- (1) 調査の実施場所 川崎図書館、幸図書館、中原図書館、高津図書館、宮前図書館、多摩図書館、麻生図書館、大師分館、田島分館、日吉分館、橘分館、柿生分館、菅閲覧所（全13か所）
- (2) 調査の対象者 概ね15歳以上の川崎市立図書館来館者
- (3) 標本数 2,980 標本
- (4) 調査方法 図書館入口で、来館者にアンケート用紙を配布し、図書館内設置の箱で回収
- (5) 調査期間 令和元年8月27日（火）～9月10日（火）の期間内に、各館2日（平日1日及び休日1日）用紙を配布した。（回収箱は9月15日まで設置）

3 調査項目の概要

- (1) 利用頻度（過去3ヶ月間に利用した回数）
- (2) 利用の曜日（過去3ヶ月間に利用した、平日と土・日曜日、祝日の比較）
- (3) 利用時間帯（過去3ヶ月間に最も多く利用した時間帯）
- (4) 滞在時間（過去3ヶ月間に利用した際の滞在時間）
- (5) 利用目的（過去3ヶ月間に利用した主な目的）
- (6) 今後の利用の意向（過去3ヶ月間に利用しなかったが、今後利用したいもの）
- (7) 今後の図書館に必要と考えること

4 回収状況

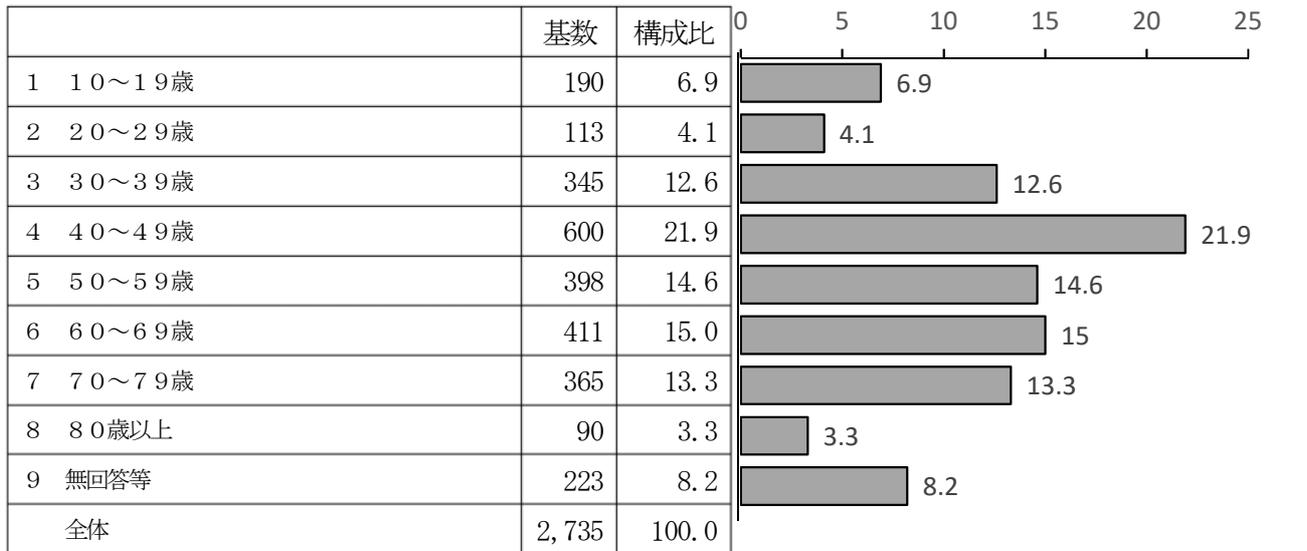
(1) 標本数	2,980 標本
(2) 有効回収数	2,735
(3) 有効回収率	91.8%

5 報告書の見方

- (1) 調査結果の集計は、小数点以下または小数点第2位を四捨五入してある。そのため、図表中の数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問は選択肢ごとの比率を合計しても100%にならない。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記等は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

Ⅱ 調査回答者の属性

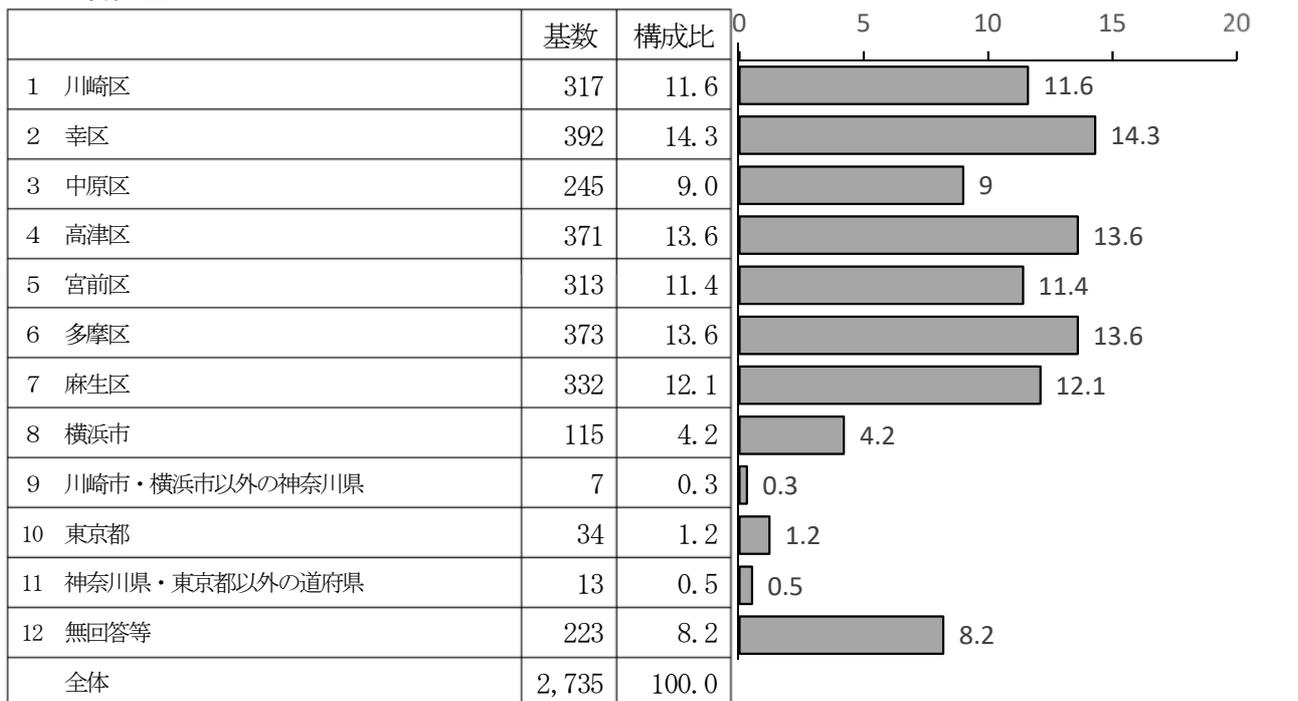
1 年齢



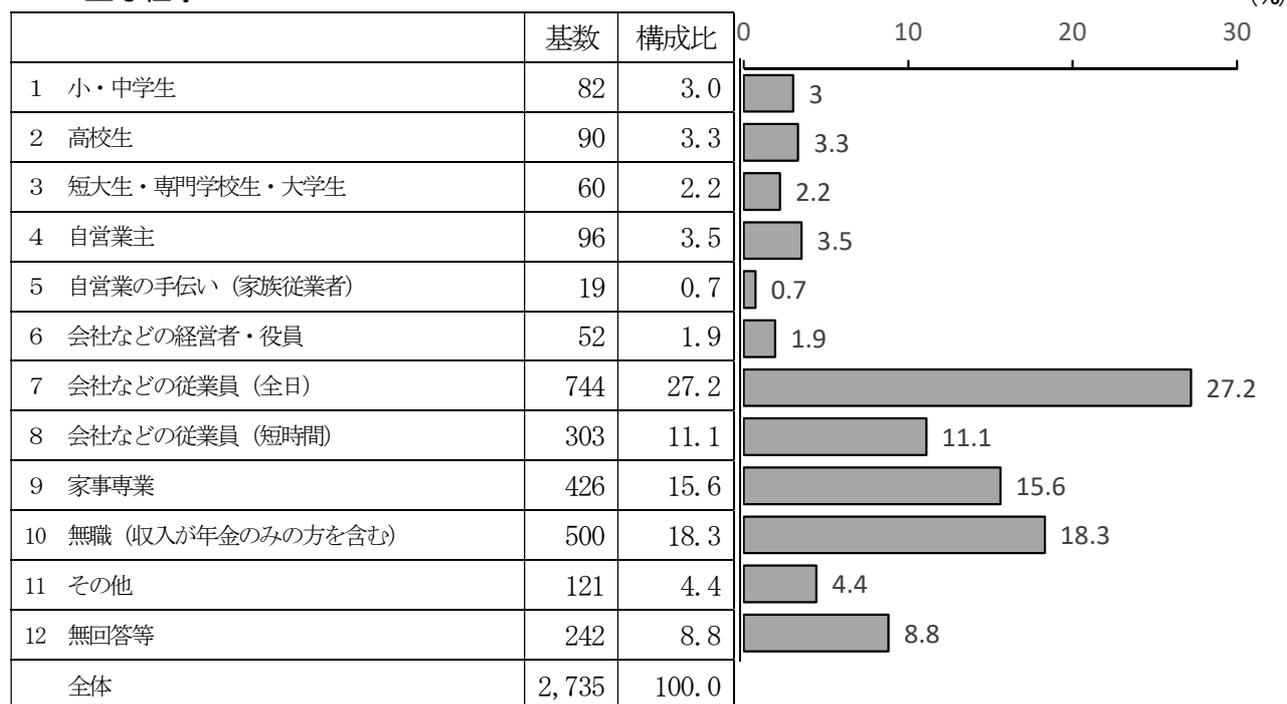
2 居住地（市内・市外）



3 居住区



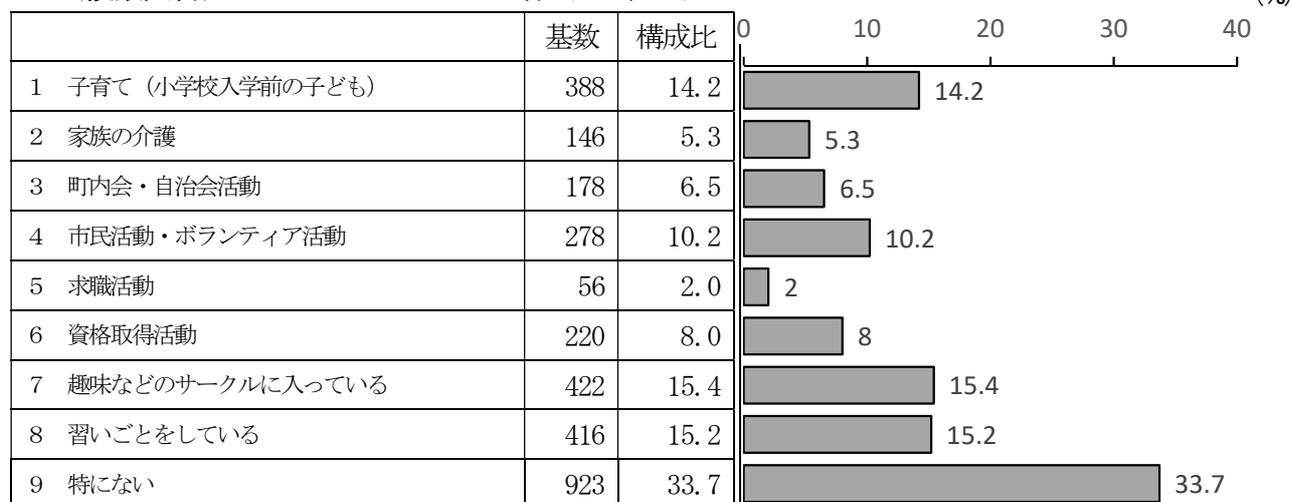
4 主な仕事



5 仕事以外に行っていること (仕事以外の属性)

(複数回答)

全体 (n=2,735)



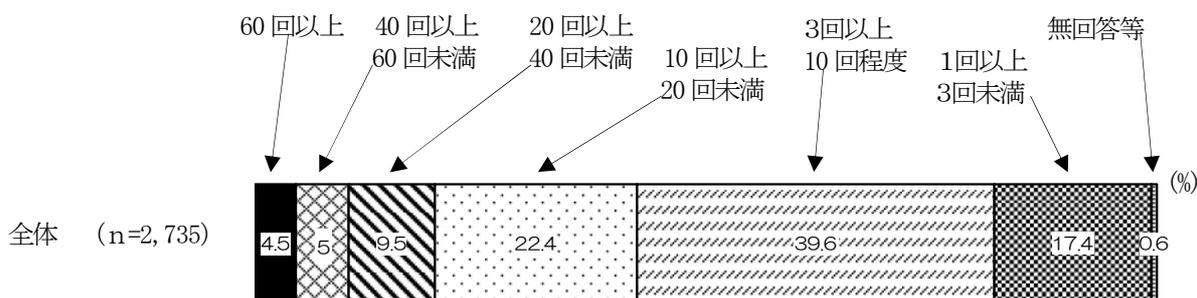
Ⅲ 調査結果

1 利用頻度（過去3ヶ月間に利用した回数）

◎「3回以上10回程度（月に1～3回程度）」が39.6%

問1. あなたはこの3ヶ月間に、川崎市立図書館を何回利用しましたか。当てはまる番号を1つだけ選び、番号に○をつけてください。

図表1 利用頻度

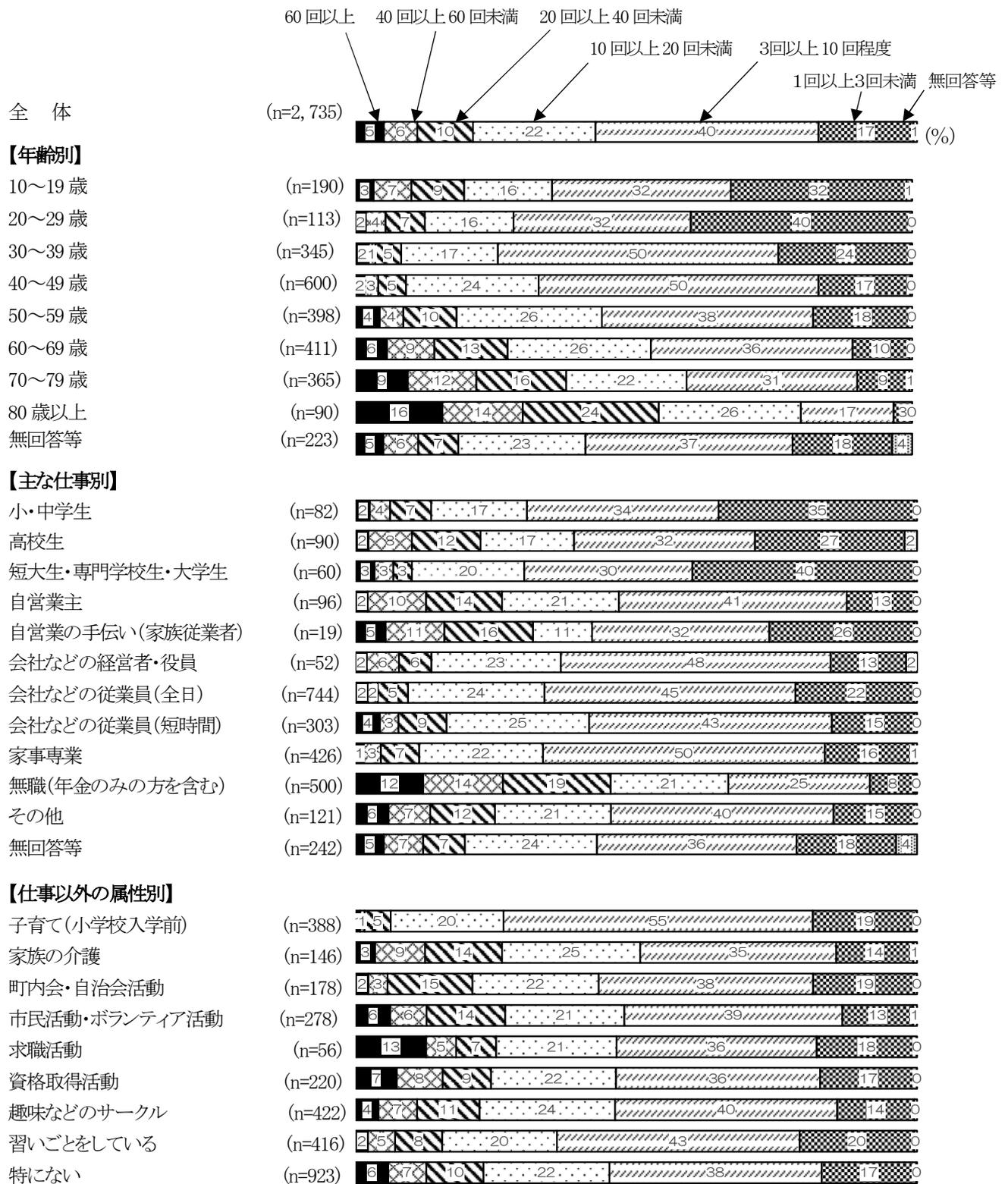


【頻度の目安】

60回以上(2日に1回～毎日)	40回以上 60回未満(週に3～4回程度)
20回以上 40回未満(週に2回程度)	10回以上 20回未満(週に1回程度)
3回以上10回程度(月に1～3回程度)	

川崎市立図書館を利用した回数（利用頻度の目安）については、「3回以上10回程度（月に1～3回程度）」が39.6%と最も高く、次いで「10回以上20回未満（週に1回程度）」の22.4%、「1回以上3回未満」の17.4%の順となっている。

図表2 利用頻度（年齢別・主な仕事別・仕事以外の属性別）



【頻度の目安】	60回以上(2日に1回～毎日)	40回以上 60回未満(週に3～4回程度)
	20回以上 40回未満(週に2回程度)	10回以上 20回未満(週に1回程度)
		3回以上 10回程度(月1～3回程度)

年齢別では、29歳以下は、「1回以上3回未満」の割合が他の年齢層に比べ割合が高いが、30歳以上の年齢層では月3回以上の利用の割合が高い。80歳以上では、他の年齢層に比べ、「60回以上（2日に1回～毎日）」の利用の割合が高くなっている。

主な仕事別では、小・中学生、高校生、短大生・専門学校生・大学生の3割がこの3ヶ月間に「1回以上3回未満」の利用しており、他の種別と比べてその割合が高い傾向にある。

また、収入が年金のみを含む無職者では、「60回以上（2日に1回～毎日）」など高い頻度での利用が他の種別より高い割合となっている。

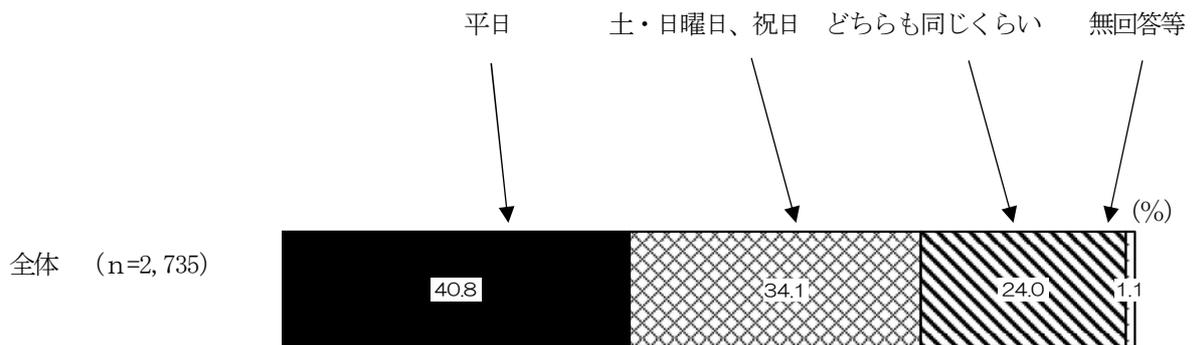
仕事以外の属性別では、子育て（小学校入学前）をしている人で、「3回以上10回程度（月に1～3回程度）」と「10回以上20回未満（週に1回程度）」以上の利用を合わせた利用が7割を超えている。

2 利用の曜日

◎平日の利用が40.8%

問2. あなたはこの3ヶ月間に、川崎市立図書館を平日と土・日曜日、祝日のどちらに多く利用しましたか。当てはまる番号を1つだけ選び、番号に○をつけてください。

図表3 利用の曜日



川崎市立図書館を利用した日については、「平日」が40.8%、「土・日曜日、祝日」が34.1%、「どちらも同じくらい」が24.0%となっている。

図表4 利用の曜日（年齢別・主な仕事別・仕事以外の属性別）



年齢別では、59歳以下では「平日」に対して、「土・日曜日、祝日」が高い傾向にある。一方で、60歳以上では、5割以上が「平日」の利用をしている。

主な仕事別では、小・中学生、高校生の5割が、会社などの経営者・役員、会社などの従業員（全日）の5～7割が「土・日曜日、祝日」の利用をしている。また、それ以外では、「平日」の利用が高い傾向にある。

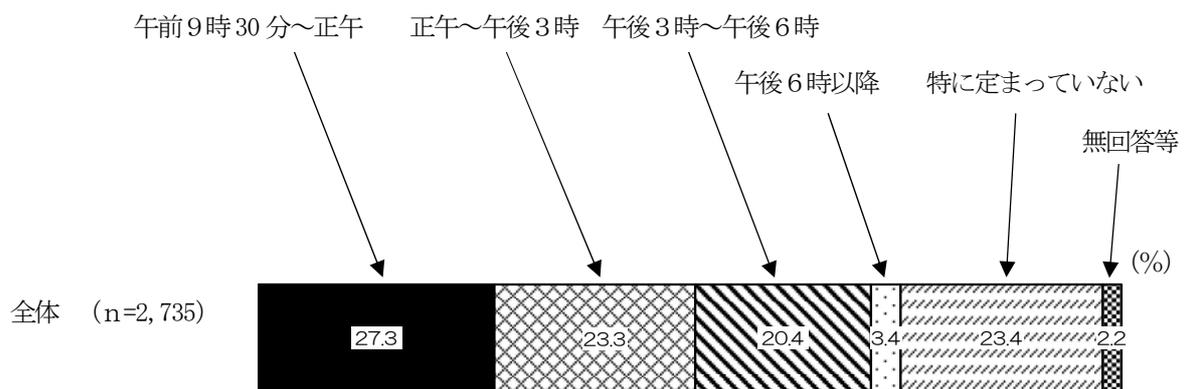
仕事以外の属性別では、概ねどの属性でも「土・日曜日、祝日」の利用より、「平日」の利用の割合の方が高い傾向にあるが、子育て（小学校入学前）と資格取得活動をしている人については「土・日曜日、祝日」の方が利用の割合が高い傾向にある。

3 利用時間帯

◎午前中の利用が27.3%

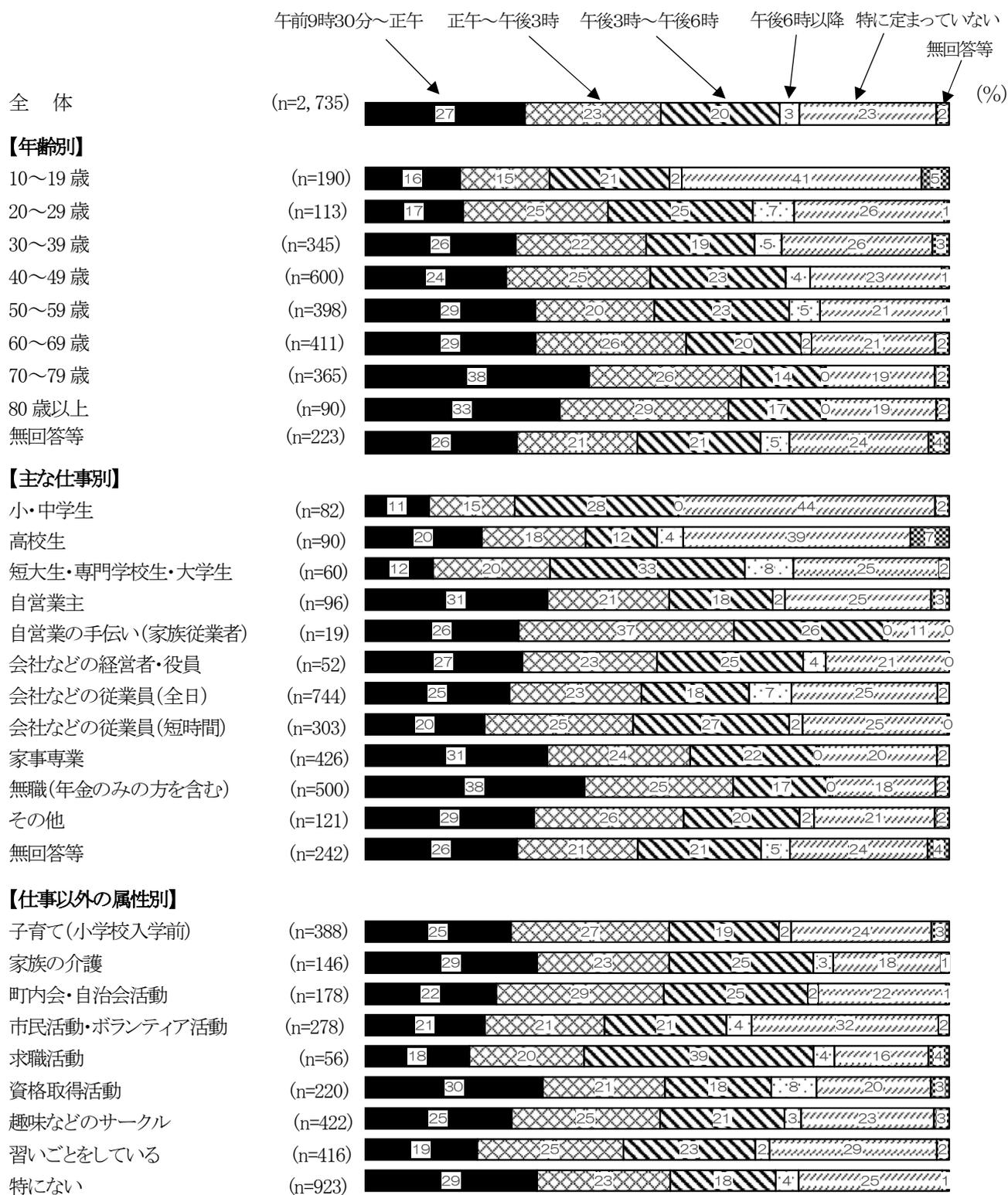
問3. あなたはこの3ヶ月間に、川崎市立図書館をどの時間帯に最も多く利用しましたか。当てはまる番号を1つだけ選び、番号に○をつけてください。

図表5 利用時間帯



川崎市立図書館を最も利用した時間帯については、「午前9時30分～正午」が27.3%で最も高く、次いで「正午～午後3時」が23.3%、「午後3時～午後6時」が20.4%の順となっている。

図表6 利用時間帯（年齢別・主な仕事別・仕事以外の属性別）



年齢別では、「午前9時30分～正午」に最も多く利用した人は、29歳以下で2割以下であるのに対して、年齢層が上がるにつれてその割合が高くなる傾向にある。

主な仕事別では、小・中学生、高校生の4割が、利用時間帯が定まっておらず、他の年齢層に比べ割合が高い傾向にある。

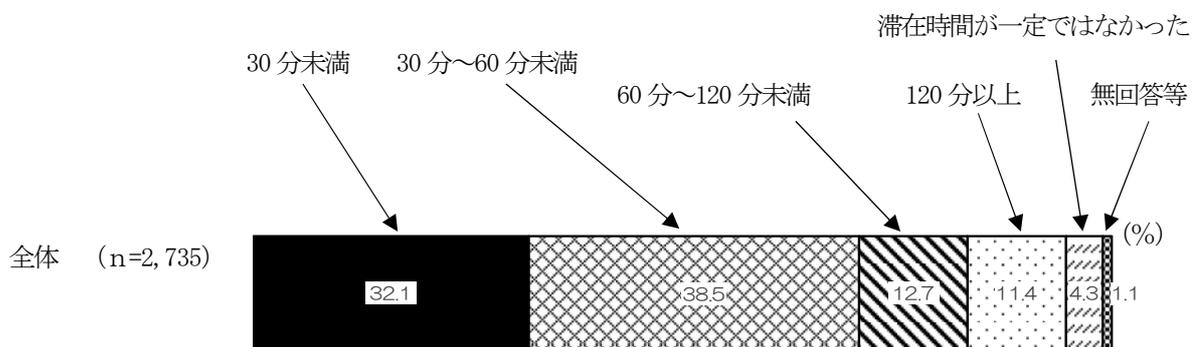
仕事以外の属性別では、「午前9時30分～午後3時」までの割合が、市民活動・ボランティア活動、求職活動、習いごとをしている人で5割を下回り、他の属性と比べ低い傾向にある。

4 滞在時間

◎30分～60分未満が38.5%

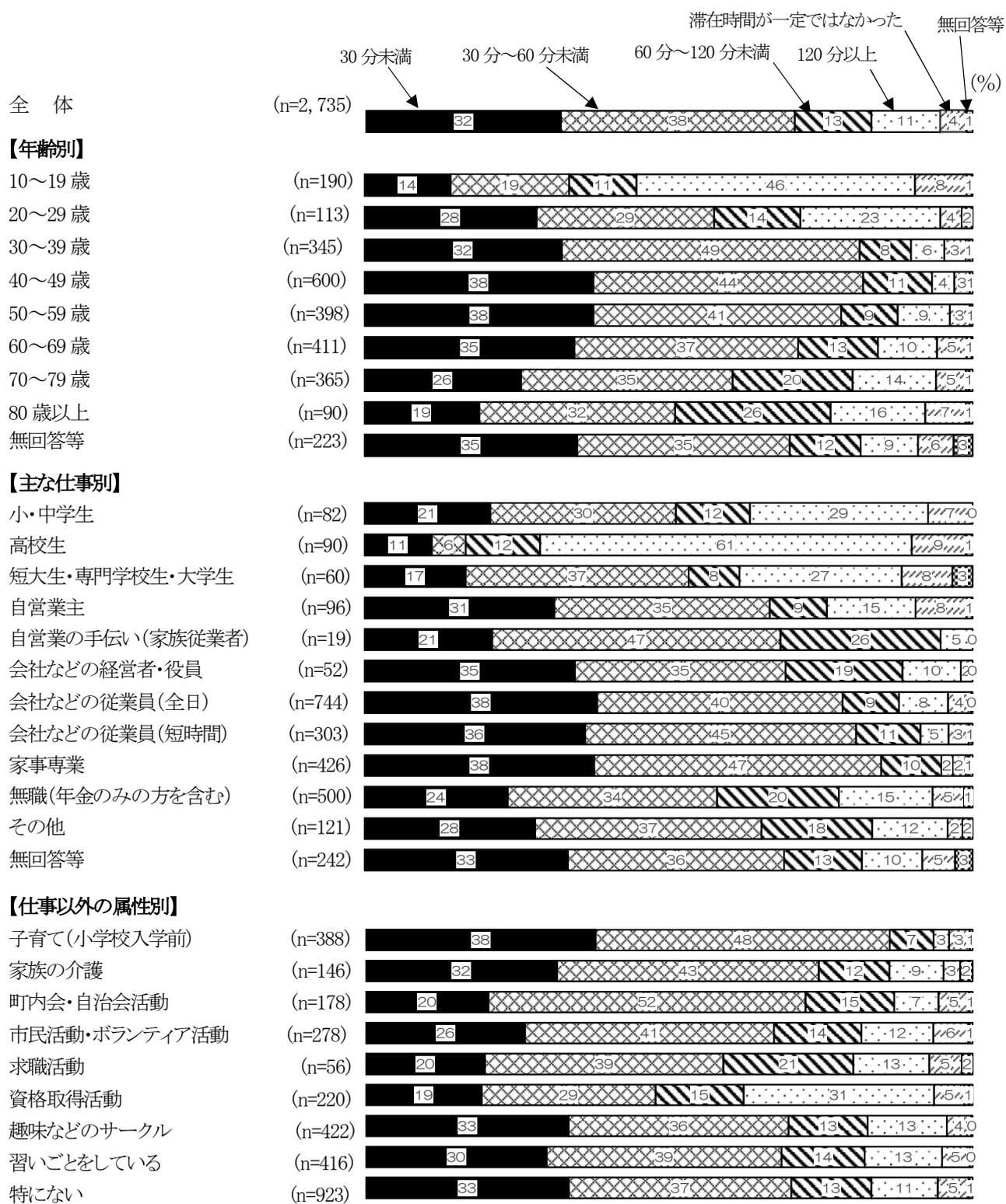
問4. あなたがこの3ヶ月間に川崎市立図書館を利用した際の滞在時間について伺います。1回のご利用の滞在時間はどの程度でしたか。当てはまる番号を1つだけ選び、番号に○をつけてください。

図表7 滞在時間



川崎市立図書館を利用した際の1回あたりの滞在時間については、「30分～60分未満」が38.5%と最も高く、次いで「30分未満」が32.1%、「60分～120分未満」が12.7%の順となっている。

図表8 滞在時間（年齢別・主な仕事別・仕事以外の属性別）



年齢別では、20歳以上の滞在時間については、「30分～60分未満」の割合が最も高くなっている。また、他の年齢層に比べて、29歳以下では「120分以上」の割合が高い傾向にある。なかでも10歳～19歳では約5割が「120分以上」の滞在時間となっている。

主な仕事別では、小・中学生、高校生、短大生・専門学校生・大学生で「120分以上」の割合が高い傾向にあり、特に高校生では6割が「120分以上」の滞在時間となっている。

仕事以外の属性別では、概ねどの属性でも、滞在時間が60分未満の割合が高い傾向にあるが、資格取得活動をしている人については、120分以上の滞在時間の割合が高くなっている。

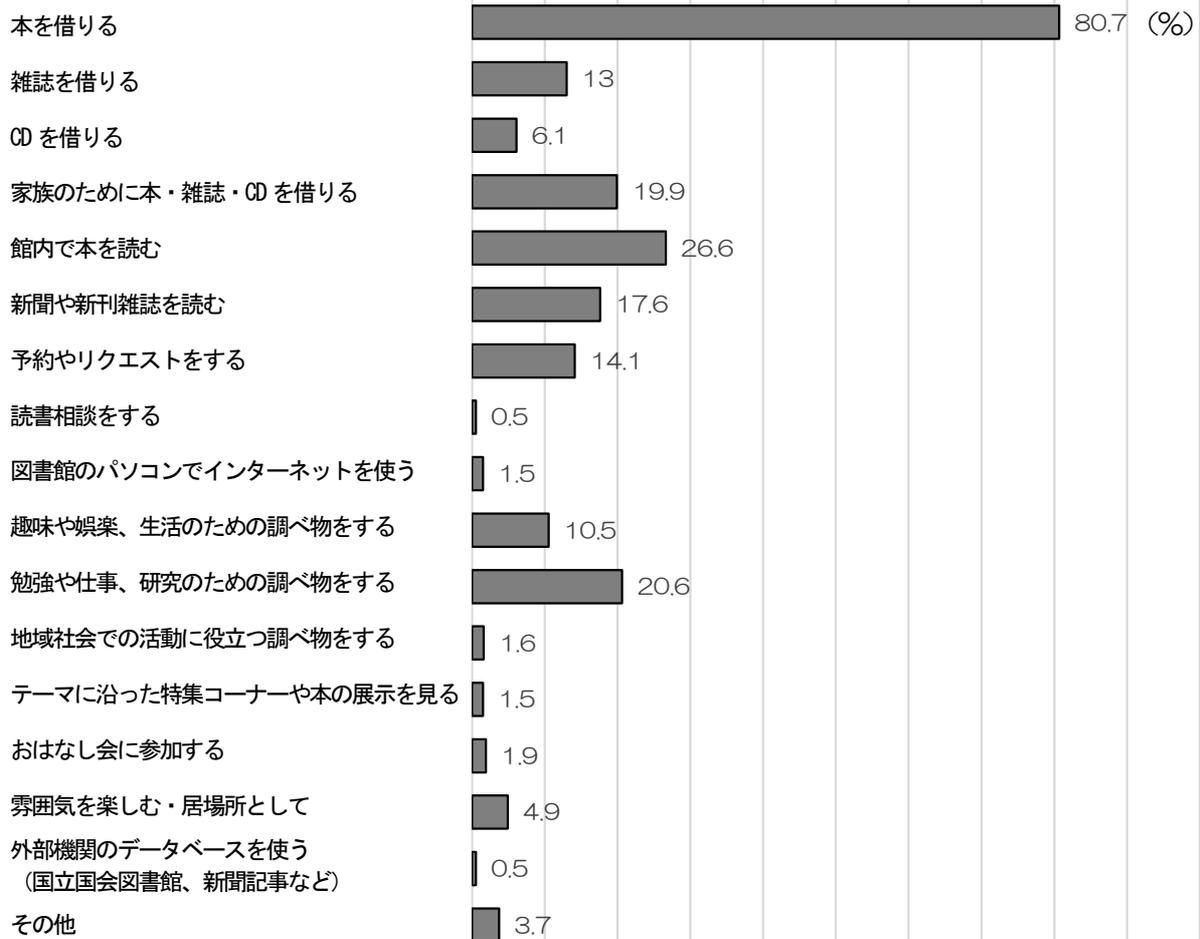
5 利用目的

◎本を借りるが80.7%

問5. あなたがこの3ヶ月間に川崎市立図書館を利用した主な目的は何ですか。当てはまる番号を全て選び、番号に○をつけてください。

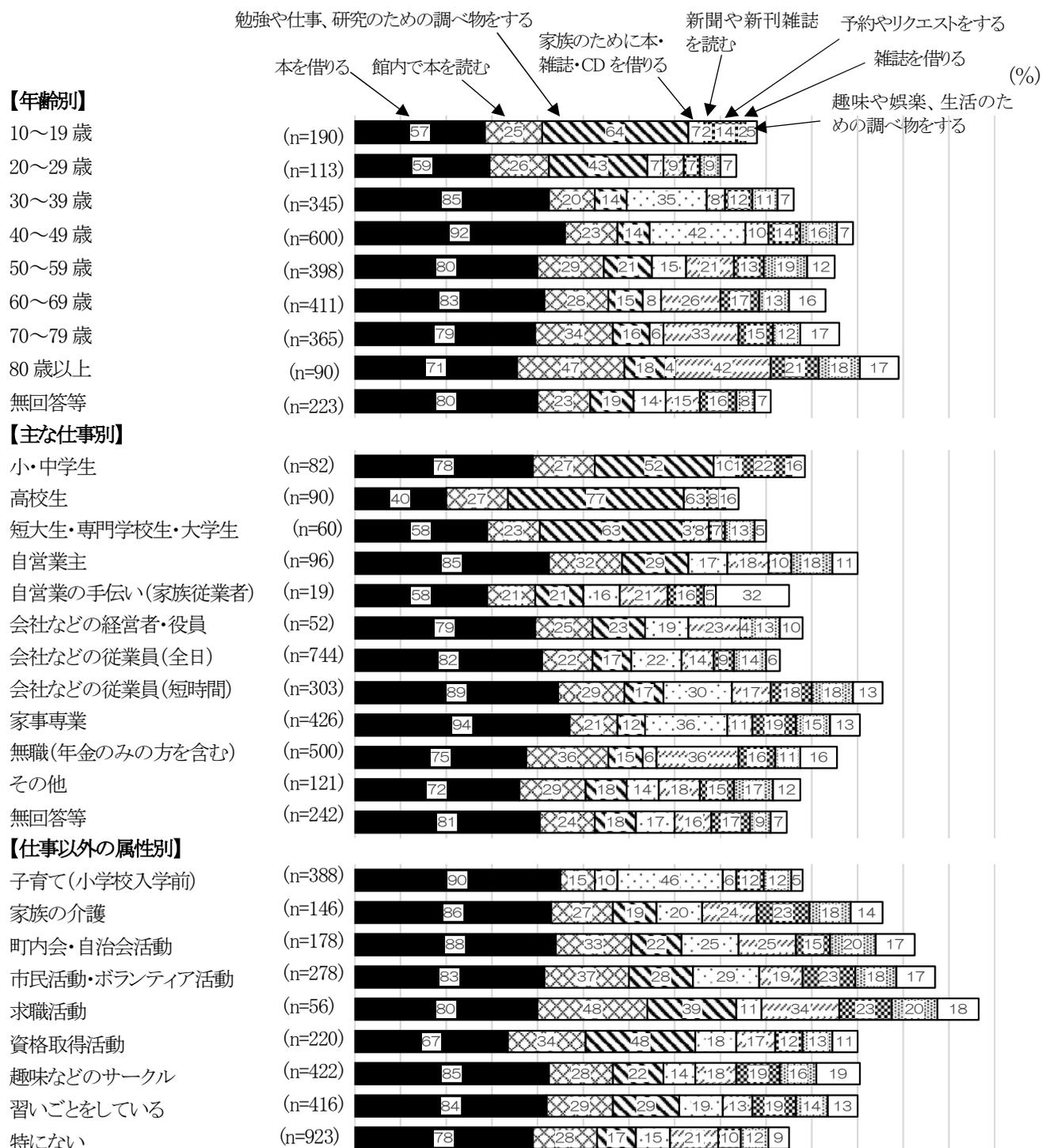
図表9 利用目的

全体 (n=2,735)



川崎市立図書館を利用した主な目的については、「本を借りる」が80.7%と最も高く、次いで「館内で本を読む」が26.6%、「勉強や仕事、研究のための調べ物をする」が20.6%の順となっている。

図表10 利用目的（年齢別・主な仕事別・仕事以外の属性別 上位8項目）



年齢別では、どの年齢層でも「本を借りる」の割合が最も高くなっており、29歳以下では、他の年齢層に比べ、「勉強や仕事、研究のための調べ物をする」の割合が高い傾向にある。

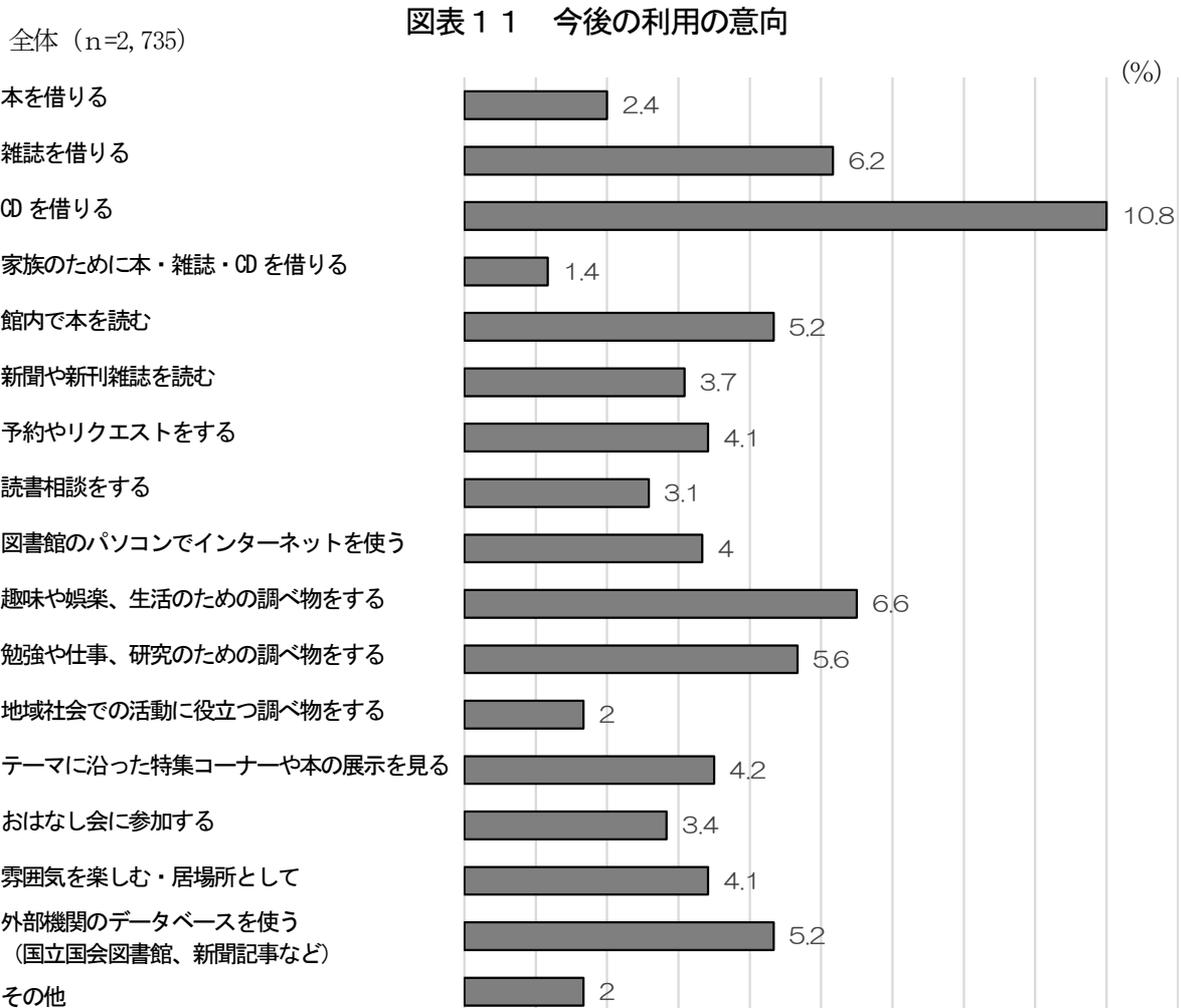
主な仕事別では、高校生、短大生・専門学校生・大学生では、「本を借りる」より、「勉強や仕事、研究のための調べ物をする」の割合が高い傾向となっている。

仕事以外の属性別では、他の属性と比べ、子育て(小学校入学前)をしている人については、「家族のために本・雑誌・CDを借りる」の割合が高く、資格取得活動をしている人については、「勉強や仕事、研究のための調べ物をする」の割合が高い傾向となっている。

【今後利用したいもの】

◎CDを借りるが10.8%

問5の2. 問5の中で、これまで利用したことはないが、今後利用してみたいものはありますか。当てはまるもの全ての番号を書いてください。



川崎市立図書館で、これまで利用したことはないが、今後利用してみたいものとしては、「CDを借りる」が10.8%と最も高く、次いで「趣味や娯楽、生活のための調べ物をする」が6.6%、「雑誌を借りる」が6.2%の順となっている。

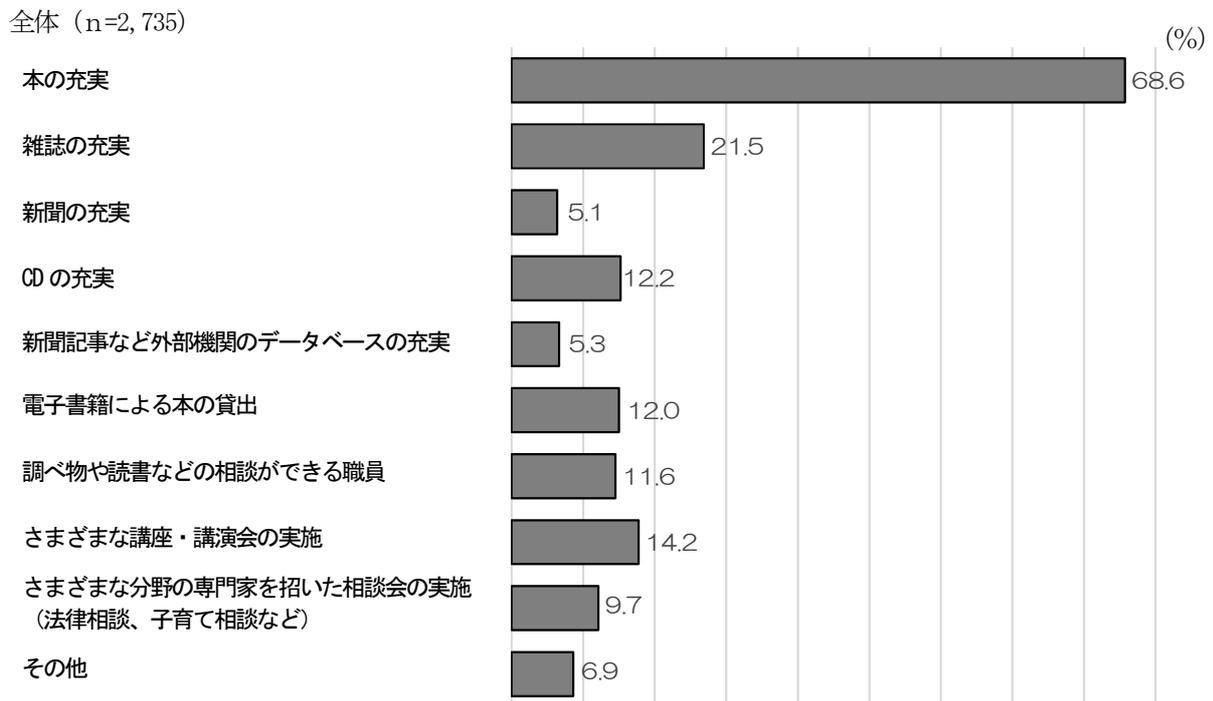
6 これからの図書館に必要と思うもの

6-1 【資料や相談に関すること】

◎本の充実が68.6%

問6. あなたが、これからの川崎市立図書館に必要だと思うのはどんなことですか。当てはまる番号を全て選び、番号に○をつけてください。

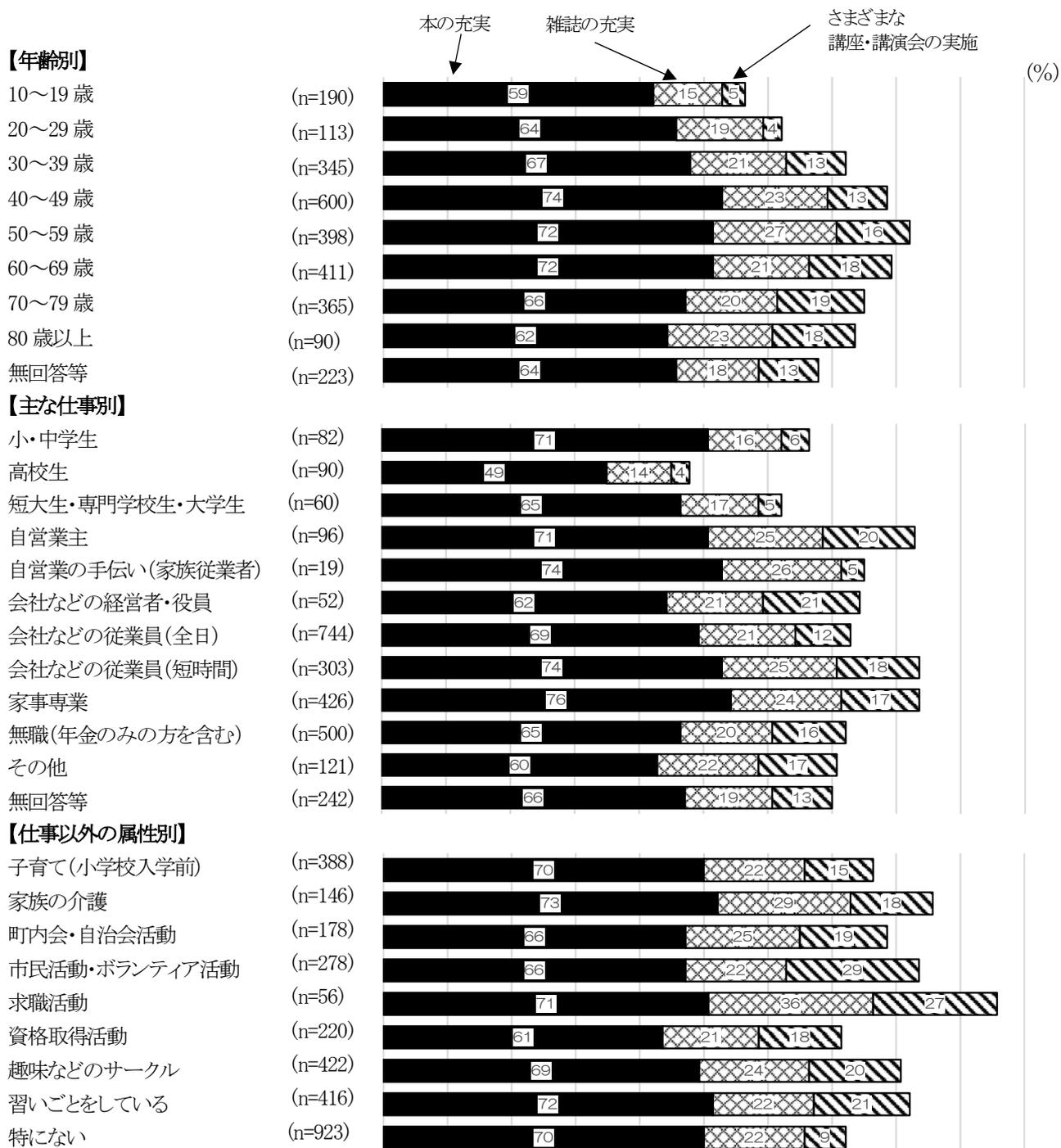
図表12 今後必要と考えることから【資料や相談に関すること】



これからの川崎市立図書館に必要と考えるもののうち、資料や相談に関することについては、「本の充実」が68.6%で最も高く、次いで「雑誌の充実」が21.5%、「さまざまな講座・講演会の実施」が14.2%の順となっている。

図表 13 今後必要と考えることから【資料や相談に関すること】

(年齢別・主な仕事別・仕事以外の属性別 複数回答 上位3項目)



年齢別では、どの年齢層でも「本の充実」の割合が5割を超えて最も高くなっており、29歳以下では、他の年齢層に比べ、「さまざまな講座・講演会の実施」の割合が低い傾向にある。

主な仕事別では、どの属性でも「本の充実」の割合が最も高くなっているものの、高校生は、他の属性に比べ、その割合が低い傾向となっている。

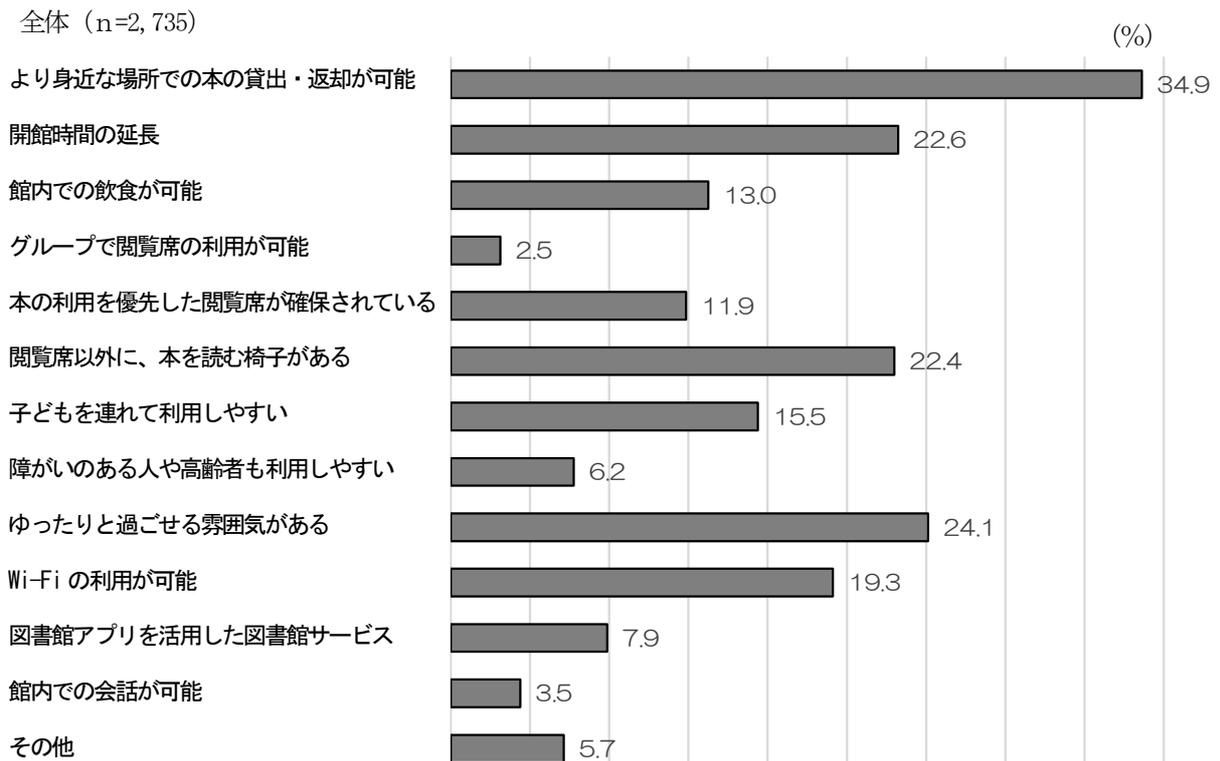
仕事以外の属性別では、どの属性でも「本の充実」の割合は6割を超えて最も高くなっており、市民活動・ボランティア活動、求職活動をしている人については、「さまざまな講座・講演会の実施」の割合が高い傾向となっている。

6-2 【使いやすさに関すること】

◎より身近な場所での本の貸出・返却が可能が34.9%

問6. あなたが、これからの川崎市立図書館に必要だと思うのはどんなことですか。当てはまる番号を全て選び、番号に○をつけてください。

図表14 今後必要と考えることから【使いやすさに関すること】



これからの川崎市立図書館に必要と考えるもののうち、使いやすさに関することについては、「より身近な場所での本の貸出・返却が可能」が34.9%で最も高く、次いで「ゆったりと過ごせる雰囲気がある」が24.1%、「開館時間の延長」が22.6%の順となっている。

図表15 今後必要と考えることがら【使いやすさに関すること】
(年齢別・主な仕事別・仕事以外の属性別 複数回答 上位3項目)



年齢別では、10～19歳は「開館時間の延長」の割合が最も高く、20歳以上では「より身近な場所での本の貸出・返却が可能」の割合が最も高くなっている。

主な仕事別では、高校生、短大生・専門学校生・大学生で、「開館時間の延長」が「より身近な場所での本の貸出・返却が可能」の割合より高い傾向となっている。

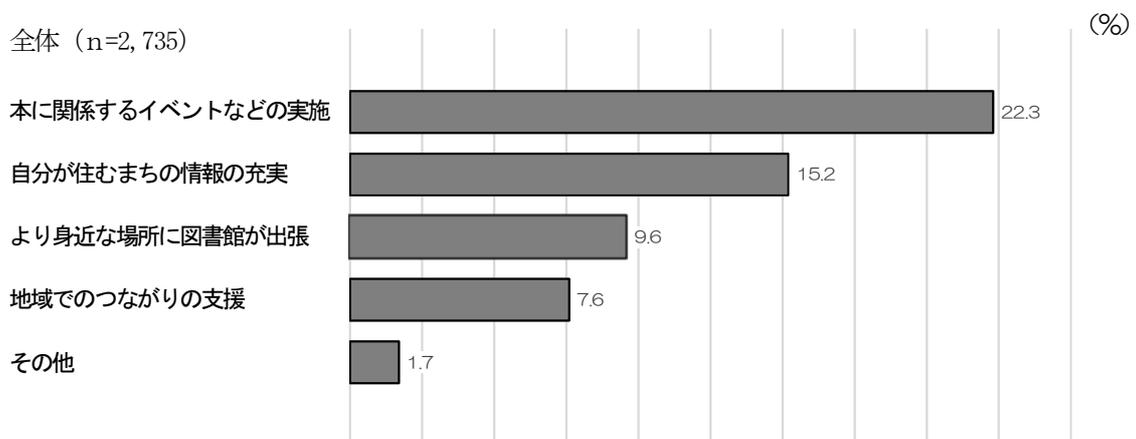
仕事以外の属性別では、どの属性も「より身近な場所での本の貸出・返却が可能」の割合が高いものの、資格取得活動をしている人は「開館時間の延長」が、また、家族の介護をしている人は「ゆったりと過ごせる雰囲気がある」も同じ割合で高い傾向にある。

6-3 【図書館を身近に感じられる取組に関すること】

◎本に関するイベントなどの実施が22.3%

問6. あなたが、これからの川崎市立図書館に必要だと思うのはどんなことですか。当てはまる番号を全て選び、番号に○をつけてください。

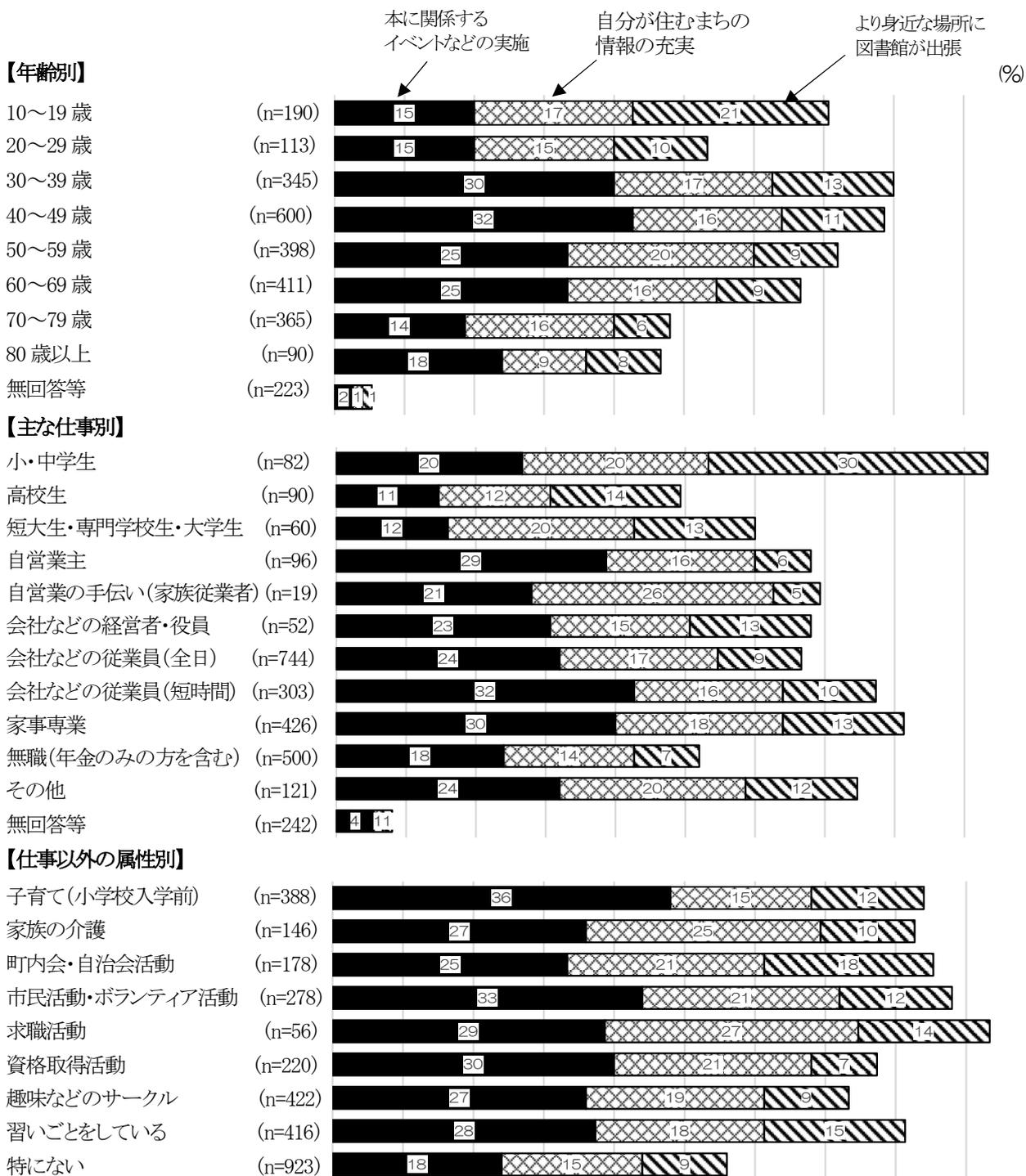
図表16 今後必要と考えることから
【図書館を身近に感じられる取組に関すること】



これからの川崎市立図書館に必要と考えるもののうち、図書館を身近に感じられる取組に関することについては、「本に関するイベントなどの実施」が22.3%で最も高く、次いで「自分が住むまちの情報の充実」が15.2%、「より身近な場所に図書館が出張」が9.6%の順となっている。

図表 17 今後必要と考えることがら【図書館を身近に感じられる取組に関すること】

(年齢別・主な仕事別・仕事以外の属性別 複数回答 上位3項目)



年齢別では、30歳～69歳、80歳以上は「本に関するイベントなどの実施」が割合が最も高くなっているが、19歳以下では「より身近な場所に図書館が出張」の割合が最も高くなっている。

主な仕事別では、小・中学生、高校生で「より身近な場所に図書館が出張」が、短大生・専門学校生・大学生、自営業の手伝い（家族従事者）で「自分が住むまちの情報の充実」の割合が最も高くなっており、その他の属性では「本に関するイベントなどの実施」の割合が最も高くなっている

仕事以外の属性別では、どの属性でも「本に関するイベントなどの実施」の割合が高く、求職活動をしている人については、「自分が住むまちの情報の充実」の割合も高い傾向となっている。

7 単純集計表

全体 (n=2,735)

問1. 図書館の利用頻度

1. 60回以上	124	4.50%
2. 40回以上60回未満	160	5.90%
3. 20回以上40回未満	261	9.50%
4. 10回以上20回未満	614	22.40%
5. 3回以上10回程度	1,083	39.60%
6. 1回以上3回未満	477	17.40%
無回答等	16	0.60%

問2. 図書館を利用した曜日

1. 平日	1,115	40.80%
2. 土・日曜日、祝日	934	34.10%
3. どちらも同じくらい	657	24.00%
無回答等	29	1.10%

問3. 図書館を利用した時間帯

1. 午前9時30分～正午	748	27.30%
2. 正午～午後3時	636	23.30%
3. 午後3時～午後6時	557	20.40%
4. 午後6時以降	93	3.40%
5. 特に定まっていない	640	23.40%
無回答等	61	2.20%

問4. 図書館での滞在時間

1. 30分未満	878	32.10%
2. 30分～60分未満	1,052	38.50%
3. 60分～120分未満	346	12.70%
4. 120分以上	313	11.40%
5. 滞在時間が一定ではなかった	117	4.30%
無回答等	29	1.10%

問5. 図書館を利用した目的 (複数回答)

1. 本を借りる	2,206	80.70%
2. 雑誌を借りる	356	13.00%
3. CDを借りる	168	6.10%
4. 家族のために本・雑誌・CDを借りる	544	19.90%
5. 館内で本を読む	728	26.60%
6. 新聞や新刊雑誌を読む	481	17.60%
7. 予約やリクエストをする	386	14.10%
8. 読書相談をする	15	0.50%
9. 図書館のパソコンでインターネットを使う	40	1.50%
10. 趣味や娯楽、生活のための調べ物をする	288	10.50%
11. 勉強や仕事、研究のための調べ物をする	564	20.60%
12. 地域社会での活動に役立つ調べ物をする	45	1.60%
13. テーマに沿った特集コーナーや本の展示を見る	41	1.50%
14. おはなし会に参加する	53	1.90%
15. 雰囲気を楽しむ・居場所として	133	4.90%
16. 外部機関のデータベースを使う (国会図書館、新聞記事など)	13	0.50%
17. その他	102	3.70%

問5の2. 今後利用したいもの (複数回答)

1. 本を借りる	66	2.40%
2. 雑誌を借りる	170	6.20%
3. CDを借りる	295	10.80%
4. 家族のために本・雑誌・CDを借りる	38	1.40%
5. 館内で本を読む	143	5.20%
6. 新聞や新刊雑誌を読む	100	3.70%
7. 予約やリクエストをする	112	4.10%
8. 読書相談をする	85	3.10%
9. 図書館のパソコンでインターネットを使う	110	4.00%
10. 趣味や娯楽、生活のための調べ物をする	181	6.60%
11. 勉強や仕事、研究のための調べ物をする	152	5.60%
12. 地域社会での活動に役立つ調べ物をする	55	2.00%
13. テーマに沿った特集コーナーや本の展示を見る	114	4.20%
14. おはなし会に参加する	93	3.40%
15. 雰囲気を楽しむ・居場所として	113	4.10%
16. 外部機関のデータベースを使う (国会図書館、新聞記事など)	143	5.20%
17. その他	54	2.00%

問6. これからの図書館に必要と思うもの（複数回答）

【資料や相談に関すること】

1. 本の充実	1,876	68.60%
2. 雑誌の充実	589	21.50%
3. 新聞の充実	140	5.10%
4. CDの充実	333	12.20%
5. 新聞記事など外部機関のデータベースの充実	145	5.30%
6. 電子書籍による本の貸出	328	12.00%
7. 調べ物や読書などの相談ができる職員	318	11.60%
8. さまざまな講座・講演会の実施	389	14.20%
9. さまざまな分野の専門家を招いた相談会の実施（法律相談、子育て相談など）	264	9.70%
10. その他	189	6.90%

【使いやすさに関すること】

11. より身近な場所での本の貸出・返却が可能	955	34.90%
12. 開館時間の延長	618	22.60%
13. 館内での飲食が可能	355	13.00%
14. グループで閲覧席の利用が可能	68	2.50%
15. 本の利用を優先した閲覧席が確保されている	325	11.90%
16. 閲覧席以外に、本を読む椅子がある	613	22.40%
17. 子どもを連れて利用しやすい	424	15.50%
18. 障がいのある人や高齢者も利用しやすい	170	6.20%
19. ゆったりと過ごせる雰囲気がある	658	24.10%
20. Wi-Fiの利用が可能	527	19.30%
21. 図書館アプリを活用した図書館サービス	215	7.90%
22. 館内での会話が可能	96	3.50%
23. その他	157	5.70%

【図書館を身近に感じられる取組に関すること】

24. 本に関係するイベントなどの実施	610	22.30%
25. 自分が住むまちの情報の充実	416	15.20%
26. より身近な場所に図書館が出張	263	9.60%
27. 地域でのつながりの支援	209	7.60%
28. その他	46	1.70%

※ 問5・問5の2・問6は選択肢から複数を選択する方式のため、選択肢ごとの比率を合計しても100%とならない。

問6の2. 問6選択肢に対する具体的なアイデア（自由記述）

同主旨のアイデアについては1つにまとめ、アイデアの最後に合計数を記載。同主旨にまとめる際等、アイデア内に挙げられた個別具体的な資料名については、分野名に置き換える等を行い記載している。読み取れなかった文字は■とし、明らかな誤記等については一部修正または補記をした。

「1 本の充実」に関するアイデア

- ・視覚に障害のある方も、図書館を利用することができるよう、点字の案内板や、点字のいろいろな本を入れる。
- ・大活字本の充実(同主旨:計2件)
- ・英語の絵本や外国語学参考書等を入れる。(同主旨:計3件)
- ・もっと図書館に予算をつける。(同主旨:計3件)
- ・本の充実については、大学の図書館と相互連携できるといい。
- ・パソコンの学習の本・新しいパソコンに対応したものにする(最新情報の資料を入れる)。(同主旨:計2件)
- ・流行の本のコーナーをつくる。
- ・新刊の紹介を図書館のわかりやすいところにはり出す。
- ・マンガコーナーがあれば、中高生・大人もよみます。(同主旨:計2件)
- ・同じような本がいつもある気がするので、ちがう本の入れ換えをする。
- ・ネットでの本のリクエストができるようにする。
- ・新しい本を増やす。汚れている本や古い本は、借りたくても、ためらってしまう。(同主旨:計2件)
- ・ドキュメンタリー映画のDVDや、勉強になるマンガを揃える。

- ・ホームページや、SNSで、新しく入った本のお知らせをする。ポイントカード、実施・稲城のような。
- ・家庭で読まなくなった本を集める。いらぬ本・CDを図書館へ寄付する。
- ・直木賞等々新刊の充実。(同意見あり: 全2件)
- ・定期的に利用者である市民の意見を聴く機会を設け、利用者の関心ある分野の動向を把握し、新しい図書館運営の方向性が発見できる可能性を見つける。
- ・人気の本、雑誌は予約数が多すぎて必要なときに読めない。冊数をふやすなどしてほしい。(同主旨: 計3件)
- ・新刊本が雑誌だけ話題の本の取り扱いは何とかならないか→もう少し貸出期間は短かくても良いから。
- ・ベストセラーはたくさん買わなくてよい。多様な本を充実すべき。(同主旨: 計3件)
- ・すでに評価の定った本(例えば「敗北を抱きしめて」のような本でも破棄処分されていることに納得できない。
- ・上・中・下セットのものやシリーズ(1~10)のもので、そもそもはじめから抜けてる(蔵書が無い)場合にちゃんと揃えてほしい。(同主旨: 計2件)
- ・新刊ばかり借りている人がいる、利限してほしい 図書館にきても新刊の棚がガラガラ。
- ・具体的な分野の充実や資料購入要望。(同主旨: 計5件)

「2 雑誌の充実」に関するアイデア

- ・多様な観点からの雑誌選考をお願いしたい。

「3 新聞の充実」に関するアイデア

- ・業界新聞を設置する。
- ・分館にJapan Times置いてほしい。

「4 CDの充実」に関するアイデア

- ・CDを備える図書館を増やす。(同主旨: 計2件)
- ・クラシック関係のCDを新刊のものを含め充実させる。
- ・ソファに座ってDVD等をゆったりと鑑賞できるようにする。

「5 新聞記事など外部機関のデータベースの充実」のアイデア

- ・聞く蔵 戦前からの利用を可能にしてほしい。

「6 電子書籍による本の貸出」に関するアイデア

- ・スマートフォンによって貸りたり、読める様にする。
- ・パソコンpdf、画像取り込みを有料でサービス。
- ・郷土史本のデジタル アーカイブなどを作成する。

「7 調べ物や読書などの相談ができる職員」に関するアイデア

- ・質問コーナーを作って、司書がお勧めの本などを伝えるようにする。
- ・子どもたちが気軽に本の相談ができる司書を置く(子どもの本を相談できるようにする)。または、子ども達が本を手に取りやすいよう、特設コーナーや作者別コーナーを設置する。(同主旨: 計2件)
- ・職員には、係がわかる名札や腕章をつけてほしい。

「8 さまざまな講座・講演会の実施」に関するアイデア

- ・子どもの学びやちょっとした大人むけの講座などを実施(土日)。
- ・作家、報道関係者にお越し願う。
- ・時流に流されることのない絵本(ロングセラー)の大切さ等について講座を実施する。
- ・古典文学の講演会(「方丈記」や「徒然草」等)や、「奥の細道」のDVDを使いながらの講演、法話などを実施する。(小規模でも可)
- ・映画化された本について、原作との違いなど、映画上映+講演会等の実施。
- ・自分の住む地域の歴史をテーマとした講演会の実施。もっと地域について知見が増すと思う。
- ・外国語の講座の実施。
- ・読み聞かせボランティアのための講座、ワークショップ、交流会。
- ・講座や講演会の宣伝を多くの人の目にふれる所に掲げると良い。

「9 さまざまな分野の専門家を招いた相談会の実施」に関するアイデア

- ・館内でコミュニティサロンを行う。
- ・海外留学生、就労者に対する語学/文化知識の交流。
- ・身の回りの身近な問題 (例) 環境問題のひとつで「ゴミの処理」→意外とわかりにくい) 担当の人の説明してほしい!

「10 その他(資料や相談に関すること)」に関するアイデア

- ・図書通帳を作る。
- ・図書館＝Creation&innovation(規模やレベルは人サマザマ)のヒントや契機を得る場と捉えたい。一図書館が用意／保持できる情報には限度がある。→外部情報源との連携が必要→toolと助言者 大学／研究機関との連携も良いかも。①館内に外部と通信可能なPCを設置する。②閲覧席で個人のPCを使用できるようにする(電源、Wi-Fiを含めて)。
- ・スマホでもパソコンでも30分くらい使えるようにする。
- ・発行日当日の新聞の閲覧は、目安1人30分までと注意書きをする。

「11 より身近な場所での本の貸出・返却が可能」に関するアイデア

- ・駅又は駅近くで返却できるようにする。(返却ボックスを設置)。(同主旨:計30件)
- ・コンビニや商業施設で返却できるようにする(返却ボックスを設置)。(同主旨:計8件)
- ・学校や幼稚園でも返却ができるようにする。
- ・開館時間内でも1Fのブックポストに返却できるようにしてほしい。(返却手続きをしないと貸出冊数オーバーで貸出不可になる場合もある事は説明すればわかる事だと思います) (同主旨:計2件)
- ・駅又は駅近く、商業施設・コンビニ等身近な場所で本の貸出・返却(予約)ができるようにする。(同主旨:計10件)
- ・行政サービスコーナーで本の受取もできるようにする。
- ・区役所出張所で貸出又は返却ができるようにする。(同主旨:計2件)
- ・子ども文化センターやいこいの家、障がい者施設で貸出・返却ができるようにする。(同主旨:計2件)また、施設に通う高齢者や障がい者に貸出・返却に係る簡単な仕事を手伝ってもらう。
- ・図書館の数を増やす。
- ・町内会館など、より身近な地域単位で図書を分散させる。
- ・図書カードを他の自治体と共通にして、1枚のカードで横浜など他自治体の図書館で本を借り、川崎の図書館で返却ができるようにする。(同主旨:計2件)

「12 開館時間の延長」に関するアイデア

- ・土日祝の開館時間を夜間延長。(同主旨:計12件)
- ・平日・週に1回程度でもよいので夜間延長。(同主旨:計3件)
- ・分館の開館時間を地区館同等程度にする。(同主旨:計5件)
- ・分館の開館時間を夏期だけでも延長。(同主旨:計2件)
- ・館によって閉館時間が違うと、いちいち確認しなければならない。全ての開館時間が同じように長いとよい。(同主旨:計2件)
- ・開館時間を9時半よりも早くする。(同主旨:計5件)
- ・できれば夜間の開館時間を延長してほしい。(同主旨:計5件)
- ・区役所等の窓口開始時間に準じた開館時間(若しくは9時開館)を要望いたします。

「13 館内での飲食が可能」に関するアイデア

- ・飲食が可能なスペースをつくる。(同主旨:計4件)
- ・ペットボトル、水筒など制限付きで飲み物を可とする。(同主旨:計2件)
- ・飲み物を飲めるカフェスペースがあるとよい。(同主旨:計4件)
- ・キッズスペース(飲食可)を作ってほしい。子どもと来たくても静かにさせるのが本当に大変です。(3才位なので)

「14 グループで閲覧席の利用が可能」に関するアイデア

- ・中原図書館のような机といすの設置。
- ・学生の勉強スペースの机の向きを変える。
- ・絵本の勉強会をする(別室で)。

「15 本の利用を優先した閲覧席が確保されている」に関するアイデア

- ・本を読むための場所 机・椅子を増やす。(同主旨:計2件)
- ・学習室(自習室)を別に用意する。(同主旨:計7件)
- ・閲覧席を広げるため、他のフロアへの一時持ち出しを可能にする。空き会議室を利用する。(同主旨:計2件)
- ・子ども用の閲覧席の充実。(同主旨:計2件)
- ・本を読むスペースをゆったりとした雰囲気。ソファタイプなど、単に勉強しに来てる人が使いにくい椅子やテーブルを設置。
- ・テーブル席に仕切りをつける。(人の目が気にならず集中できる)
- ・1階にも充実した閲覧席を増す。
- ・若い方の学習目的での席使用が(席取り)多い。 図書館とは、学習館なのでしょうか 今一度考えてもらいたいです。

- ・図書館スペースを十分に確保し、広いソファや閲覧コーナーなどがあり、居場所として落ち着く、時代に合った洗練された室内、居心地は求めたいです。小学生が下校後に行って、健全安心な居場所としてのスペース。おはなし会などに参加するなどしやすい図書室を望みます。
- ・海老名図書館のようにサービスが充実している図書館。絵本とかもっと良書を充実させてほしいです。
- ・図書館にはご負担かもしれませんが、習い事後の子どもと仕事後の親の待ち合わせがてら、読書や宿題をさせられる図書館だとありがたいです。
- ・利用者に対して、椅子席が少ないです。いつも、特定の人が朝早くから専有している様に思えます。中には殆んど閲覧されていない本があるのでは無いでしょうか。入って左壁側と(上部も)右側奥の方です。利用数を考え工夫して閲覧席の拡大を計るべきと思います。灯りも節電のために全部点けなくてもいいと思います。

「16 閲覧席以外に、本を読む椅子がある」に関するアイデア

- ・本を読む椅子は、座りやすい(長時間座っていても腰が痛くなりづらい)椅子にする。(同主旨:計3件)
- ・入り口付近に時間限定をして室をつくる。
- ・本棚に隣接する場所など、椅子を増やす。(同主旨:計2件)
- ・椅子が1つ1つはなれている方がいい。
- ・絵本コーナーに大人単独で本を読める椅子を設置する。
- ・机やイスの専有時間に制限を設ける。
- ・館内スペースが不足するのが問題。難しいと思うが、市民館フロアも合わせてスペース確保ができれば。
- ・図書館内にカフェなど作る。
- ・長椅子を設置する。
- ・この夏、東北のツタヤ書店と一緒にいる図書館に行きました。書店に来る人が図書館に寄ったり、その逆もあり、カフェもあり人が集まるスペースとなっていました。閲覧以外に席が多くありちょっと座って本を読むのにとでも良かったです。また、ツタヤ書店の棚の作り方がとても見やすかった。(見出し等)
- ・朝から閲覧席は取り合いになります。本を読む程度は他のスペースでも可能なのに、閲覧席で読まれると、勉強したい人が困る。
- ・ゆっくり本を読みたいけれど座る場が少ないので座席数をふやしてほしい。
- ・間仕切りのある個人スペースを設けてほしい。
- ・明るい雰囲気、本をゆったりと読める空間がほしい。

「17 子どもを連れて利用しやすい」に関するアイデア

- ・子どもの本と大人の本、コーナーの間に空間を設ける(雑誌閲覧コーナー等)。
- ・子どもが声に出して本を読んでも気にならないスペースをつくる、広げる。(同主旨:計3件)
- ・親子連れがゆっくりと本を読める場所(椅子とテーブルを増やすくつをぬいで上がれる所など)(同主旨:計2件)
- ・子どもはどうしても静かにできないので、子どもだけが利用できるように仕切るなど子どもが利用しやすいゾーンを作る。(同主旨:計2件)
- ・防音や広さなど子どもが本にあきたら少し遊んでまた本に戻れるような場所。(同主旨:計2件)
- ・年代別のよみきかせイベントの実施。
- ・子連れで来れるイベントの充実 0才児～の絵本の充実。
- ・本の通帳(子どもが借りた本の履歴が残る通帳の発行)
- ・車での巡回図書館 絵本を持ってまわる。
- ・赤ちゃんが寝ころべるスペースの設置、ベビーカーで入る事ができるトイレの設置、オムツかえシートの増。
- ・子どもスペースの通路をもう少し広くする。
- ・買い物カートのような本を選びやすい仕組み、子連れのため。
- ・カウンターに行列ができていたらすぐにカウンターをあけてほしい。
- ・中原図書館の様に子供用のスペースが広いのはとても良いです。

「18 障がいのある人や高齢者も利用しやすい」に関するアイデア

- ・個室に近い、(見えにくい)状態か、くつをぬいで入れるような感じか、背もたれがある座りやすいイスだけでも用意する。
- ・高齢者に車いすやメガネをかす。視覚障がい者には点字をいれる。
- ・車椅子優先席の設置。

「19 ゆったりと過ごせる雰囲気がある」に関するアイデア

- ・広いスペース開放的な空間を多くとる。詰めこまない。明るい図書館。(同主旨:計2件)
- ・緑を増やし、快適な空間作り。館内をきれいにする。(同主旨:計2件)
- ・本をゆっくりと読んで調べられるスペースを確保。(きれいな整ったスペース)。
- ・館内で会話するスペース、本を読むスペースと分けてゆったりと過ごせる雰囲気にする。
- ・ソファ等etcリラクセス出来る空間。(同主旨:計2件)
- ・イスをすわりやすいものにする。(同主旨:計2件)

- ・カフェのある(カフェのような)ゆったりとしたスペース。(同主旨:計5件)
- ・席の間隔を広げる。
- ・テーブルにテープ等の目印をつけ、隣の人とのスペース範囲を明確にする。
- ・もっと広い教室のような場所をつくり、学生達が利用でき(同主旨:計2件)、一般の利用者もPCなど持込んで利用できるよにする。
- ・富山県の「TOYAMAキラリ」という美術館、カフェ等もある建物にある図書館に行く機会があり、本を借りなくてもゆったりと過したいと思う空間で印象的でした。隈研吾さんの手掛けた建物ということで観光名所にもなっているようでした。
- ・勉強用で利用できるテーブルが古い。集中できる居場所が学生に必要。工夫すればもっとスペース作れるのでは？
- ・受付の人の言葉づかみがいいねいすぎる。もっと普通がよいと思う。

「20 Wi-Fiの利用が可能」に関するアイデア

- ・電源も併せて設置する。
- ・図書館の数ヶ所にWi-Fiルータを置く。
- ・フリーでは、セキュリティに問題あり、席の予約と同じシステムで時間限定でwifiのワンタイムパスワードを提供する。
- ・無料wifiをいれる。
- ・利用できる時間を設定し、Wi-Fi専用の部屋を設置する。
- ・WiFiのテレワーク
- ・Wi-Fiを入れてほしい。(同主旨:計5件)
- ・Wi-Fiが使える場所が2Fのみなので1Fでも使えるようにしてほしい。
- ・Wi-Fiがあれば調べ物がしやすいです。(同主旨:計2件)

「21 図書館アプリを活用した図書館サービス」に関するアイデア

- ・スマホアプリ・誕生日月に予約が優先的に取れる特典等をつける。
- ・あんなアプリ
- ・本のリクエスト、本の予約、延長、返却のお知らせ、蔵書検策などアプリでできると便利。
- ・データで本の貸し出し。
- ・予約すれば本が郵送される。
- ・アプリ内に閲覧席の席を利用者に(希望者)上手に使えるような機能を入れる。
- ・パソコンとアプリの連携を検討。
- ・ホームページからの予約時にカード番号入力めんどろ。
- ・予約した本が来た場合はメールかラインで連絡が良いです。(現在は電話いただいている)

「22 館内での会話が可能」に関するアイデア

- ・完全に本を読むのに専念したい人と、話をしたい人で、部屋などをしっかりと分けたほうがいい。
- ・小さくていいから、談話室的なものを設置する。
- ・少し会話が出来るエリアをつくる。なんでも(相談)できるようにする。

「23 その他(使いやすさに関すること)」に関するアイデア

- ・周囲ともう少し離す。今は近すぎて利用しづらい。
- ・衛生面を考慮して ・机、イスの清潔化。(ニオイがキツイ、イスがあった)・館内の空気清浄化(ニオイ、キツイ場所があった)のため空気清浄機の設置、アロマなどあってもよい。
- ・席の数(椅子)を増やす。(同主旨:計2件)
- ・固い椅子、傷んだ椅子、机が多いので新しくする。(同主旨:計3件)。
- ・影ができる閲覧席にデスクライトをつける。
- ・閲覧席の拡充
- ・多目的ルームBの開放による閲覧席の増席。
- ・時間指定席の利用可能番号の表示ディスプレイを増やす。
- ・開館時間でも返却ポストの利用を可能とする。
- ・図書館からのお知らせメールを利用者が開封したか確認する方式でメールを送付する。
- ・予約の人数が一定以上のときは貸し出し期間を通常より短くするのはどうか。(同主旨:計2件)
- ・人気本の寄付のお願いをふやす。HPや館内ポスターで。なるべく本の題名指定。
- ・貸出延長後、引き続き借りたい場合、一度返却するのではなく「再貸出し」できる制度を導入する。
- ・図書館の利用法を広く知ってもらうために、利用支援を中心とした講座などを実施。図書館ツアー等も有効かと思う。
- ・子どもが、どれを借りたのかわからなくなるので、ネットで履歴が見られるととても便利。
- ・蔵書検索後、図書がある場所を地図のように示してくれるが、今よりも、もう少し細かく場所指定ができるようにする。(今の地図は難しい)
- ・PC専用スペースはPCを使用しない人の使用を禁止する。
- ・貸出期間が2週間だとやはり短く感じる。前に住んでいた練馬は3週間だったため不便だと思った。

- ・大田区大森にある区民図書館や藤沢市にある市民図書館の方がよほど居心地が良い。もっとがんばってほしいです。新宿中央図書館もよかった。
- ・利用者のマナー向上を徹底して欲しい。
- ・学習するところへ新聞をもってこないようにして下さい。(ガサガサうるさい)また、他の地域に比べて本の充実さはよくないと思います。社会人席なんかやめて下さい。一日中新聞読んだり寝ている人けっこういます。

「24 本に関するイベントなどの実施」に関するアイデア

- ・読書会、読み聞かせなど本に関するイベント。(同主旨:計2件)
- ・講演会や交流会の開催。(同主旨:計2件)
- ・作家の方々のトークイベントなど。(同主旨:計8件)
- ・著者本人や著者の関連することで研究している方のお話を聴く講座の開催。
- ・大学の先生を読んで文学論、作者論のレクチャーの催し。
- ・1) 奥泉光 ■いとうせいこう氏 2) 高橋源一郎氏 など、書籍を深読みする人たちを招いた講演企画。
- ・シリーズ本等の無料読書会や、ワンドリンクサービス付きのイベント等。
- ・大人の朗読会や大人のおはなし会。(同主旨:計4件)
- ・本の解説や、特に気にとめて、読むところを助言してもらえる会。
- ・本のテーマ、現在公開している映画や時事問題を取り上げた本のテーマに沿ったイベント(子ども向けも)。(同主旨:計3件)
- ・出版者とタイアップして読書会。映像化作品とのコラボイベントなど。
- ・おすすめな本を発表する。
- ・ビブリオバトル
- ・絵本の原画展など絵本についてのイベント。
- ・本屋大賞などについて楽しめる企画展示・イベントがあれば。(同主旨:計2件)
- ・川崎の歴史について講演会。
- ・数ヶ月に1度、貸し出し書籍のベスト10発表、作家特集など。
- ・子育てで子どもに人気の本の紹介など。
- ・週末のお話し会など。(同主旨:計2件)
- ・夏休みに自由研究に関する本を見やすく並べたり、貸出日数に応じて粗品がもらえる等のイベントを行う 小学生向けのおはなし会やこわい昔話などもおもしろいかも。
- ・読書感想文におすすめの本の紹介や書き方のイベント。(同主旨:計3件)
- ・学校へ出向き、本の紹介などおもしろさを伝える。(同主旨:計2件)
- ・目かくし本の貸し出しとか行う。
- ・英語の絵本の読み聞かせ。30分~45分子どもと保護者を対象に、手遊び自作絵本・有名な絵本などを読む。英語がわからなくても楽しめる。
- ・図書館見学会(倉庫、書庫をのぞける、など) 泊まり。各スポーツ団体とのコラボ企画など。
- ・図書館職員に、本のフィルム貼り技術を教えていただけたら。本の直し方も。
- ・公園、イベント等に車で出張、コーヒー販売やイス、テーブルが設置されカフェの様な、出店の方法。
- ・家庭に余分な本のリサイクルの増加。
- ・ホームページでのアピール。
- ・フロンターレの選手の本紹介は良かった フロンターレ文庫もいろんな人のおすすめを知りたい。

「25 自分が住むまちの情報の充実」に関するアイデア

- ・土日で、いろいろな法律相談の実施。
- ・川崎市(～神奈川県)の散歩道ガイド。
- ・川崎の地名など郷土に関する本の内容に沿ったところを歩くとか。
- ・地域の歴史の写真展、図書の展示、歴史の展示等、常設的な展示スペースをつくる。
- ・市民発の講座
- ・発掘報告書(県内)
- ・芸能人や有名人をまねいてイベントをする。
- ・ミニコミ誌との連携。
- ・地域活動グループの紹介(ボランティア・スポーツ等)(同主旨:計3件)
- ・いろいろな催し物をわかりやすく貼ってほしい。(同主旨:計2件)
- ・ボランティア活動の紹介イベント。
- ・高齢者施設とコラボしてイベントを開催。
- ・オープンカフェの運営。
- ・多言語に、表示くらいは日英2ヶ国表示に。
- ・今はホームページを利用して、様々な本を検索して読むことが出来るので、すごく楽しいと思っています。川崎市にはコンサートホールや音大もあるので、コンサート情報なども目につくところにあったら、行ってみたいなあと思います。

- ・自分が住んでいるところで、サステイナブルな活動(持続可能)をしているところの紹介をしてほしい。せっけん使おう(きなりっこ)とか、ゴミの処理のこと浮島町ゴミ処理での現状。川崎市はプラゴミをどのように処理されているかなど。
- ・歴史 地域史の研究会があれば参加したい
- ・地域に関する歴史や、再開発に関する資料が欲しいです。

「26 より身近な場所に図書館が出張」に関するアイデア

- ・出張所を増やしては？
- ・駅に返却機能(返却窓口・返却ボックス)を設置。(同主旨:計4件)
- ・施設の画に出張図書館をひらく(同主旨:計10件)。出張先意見:コンビニ、スーパー、ショッピングモール、マンションロビー、団地、保育園、老人ホーム、病院、など。
- ・近隣小学校に出張。
- ・使われなくなった公共施設の利用。
- ・高齢者施設などに団体貸出をする。スタッフともに。
- ・車での移動図書館。(同主旨:計5件)
- ・行政出張所で本の返却だけでなく予約本を受けとれるようにする。
- ・区役所保健福祉センターの乳児健診の時、出張して子育ての本、絵本等紹介する。
- ・本の宅配
- ・もう少し溝の口駅の近くだと利用しやすいです。
- ・突然かつ一方的に、図書館のさぎ沼移転が決められてしまいました。東急と一部地元の有力議員の策謀と見えています。現在の地に分館、分室を設置するよう求めます。

「27 地域でのつながりの支援」に関するアイデア

- ・地域交流映画上映会の実施。
 - ・求人(シッター)
 - ・スペースの新設
- 防災マップの展示、防災用品の一覧。
障害者に対する支援をしたいと思っています。

「28 その他(図書館を身近に感じられる取組に関すること)」のアイデア

- ・「図書館」という言葉を見たり、聞いたりする機会をふやす。
- ・謄本、印証などを図書館で受けとれるようにする。
- ・オススメの本を選んでくれるサービス。(同主旨:計2件)
- ・麻生と宮前図書館にある布の絵本の写真をホームページに掲載する。
- ・鉄道CDを入れ、ライブラリーをつくる。
- ・他都市の図書館との図書共有化。
- ・図書館の通帳をつくり、読書履歴がわかるようにする。(同主旨:計5件)
- ・賞を受賞した本を集めた本棚など、本のフェアや、読んでもらいたい本の置き方並べ方、展示方法をもっと工夫する。(同主旨:計3件)
- ・入庫した新刊本の紹介やお勧め本の紹介を貼り出す。
- ・イベント情報(各図書館)をまとめる。
- ・調理、手芸などの作業スペースをつくる。
- ・フラワーアレンジメントなどのショートセミナー、折り紙や切り絵など大人も参加できる講座等を開催する。(同主旨:計2件)
- ・子どもも参加できて、楽しめる寄席等を開催する。
- ・声優の玉子(勉強中)を使っての読み聞かせ会の開催。
- ・川崎に関する図書と地図や実際のイベントなど実際の生活とリンクさせる。
- ・サクサク使える図書館アプリ。
- ・予約本の取り置きを2週間に。朝の開館時間を少し早く30~60分。
- ・例1)1日延…1週間、2日延…2週間、3日延は1ヶ月貸出禁等 例2)2度以上注意されたら1ヶ月入館禁止等。利用規則違反に対しては厳罰に処するのにも図書館のサービスや運営の向上と思う。
- ・多目的室の有効活用を検討する。例)親子連れに開放 テーブル席として開放。人が集まる企画展(地域の人の主催など)。
- ・もっと椅子を増やす。
- ・閲覧テーブルに椅子に合わせ席があることを明らかにするためテープの様なもので仕切りを入れる。
- ・勉強のためのスペースをつくる。年代で使うスペースの差別化。個人席を増やす。図書館自体を拡大。
- ・カフェを併設する。(同主旨:計3件)
- ・図書館が少ない区に図書館をつくる。
- ・第3者との交わり。
- ・健康と明るい開放感がテーマになると良い。

- ・他都市の図書館も参考にするとよい。(稲城市のアイプラザ、北区中央図書館、中目黒の図書館、千歳烏山の図書館、大和のシリウス、室蘭「きらん」内の図書館など)
- ・川崎市は図書館については(周回遅れ)の感があります。他地区の図書館の動向を、市職員がしっかりと調査されるのが先決と思います。
- ・汚れている本が多いのは残念です。(同主旨:計2件)
- ・子育てをするようになり、本を借りるついでに目にする地域情報、子育て支援情報がとても役に立ちました。
- ・Wi-Fiを入れると図書館本来の利用の目的で使う人が薄れそうです(閲覧スペースに居座る人が増えそう)。
- ・図書館で読書するのに雰囲気づくりは今のままでよいが場所が少ない。
- ・もっと細かく本を検索できるシステムにして欲しい。
- ・絵本が探しにくく、取り出しにくい、他の地区の図書館も参考に改善して欲しい。
- ・本の読み聞かせをやっているが、受験シーズン(1~2月)は、少し時間をずらして欲しい。・読み聞かせを早くするか。・自習室利用を遅くするか。・もしくは読み聞かせ実施場所を変更するか。
- ・男子のトイレ(大)がくさい。トイレの換気がない。
- ・要望:特に本を読んでいる訳でもない高齢者がいびきをかいて寝ていて、うるさいし、本来の目的でイスを必要としている人が座れない。注意すべき。高齢者が多すぎる。
- ・利用者のマナーが悪い。会話の音が大きいetc ガードマン方が注意して欲しい!
- ・いつも利用するたびに思うのはいろいろな図書館を利用しますがこの図書館ほど騒々しく、利用者を見殺しにした図書館は他にありません。その原因は現在、書庫への往復に利用している騒音をまき散らかしている台車にあります。利用者は皆迷惑しているんです。利用させてもらっているから口に出さないだけなんです。早急に改善がなければ知事に手紙で訴えるしか方法を知りません。

IV 調査票

川崎市立図書館の利用について

今後の川崎市立図書館のサービスや運営の参考とさせていただくため、以下の質問にお答えください。
なお、このアンケートには、お一人につき一回お答えください。既に回答された場合には職員に用紙をお返しください。

問1. あなたはこの3ヶ月間に、川崎市立図書館を何回利用しましたか。当てはまる番号を1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 60回以上
(目安として2日に1回～毎日) | 2. 40回以上60回未満
(目安として週に3～4回程度) | 3. 20回以上40回未満
(目安として週に2回程度) |
| 4. 10回以上20回未満
(目安として週に1回程度) | 5. 3回以上10回程度
(目安として月1～3回程度) | 6. 1回以上3回未満 |

問2. あなたはこの3ヶ月間に、川崎市立図書館を平日と土・日曜日、祝日のどちらに多く利用しましたか。当てはまる番号を1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------------|--------------|
| 1. 平日 | 2. 土・日曜日、祝日 | 3. どちらも同じくらい |
|-------|-------------|--------------|

問3. あなたはこの3ヶ月間に、川崎市立図書館をどの時間帯に最も多く利用しましたか。当てはまる番号を1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 午前9時30分～正午 | 2. 正午～午後3時 | 3. 午後3時～午後6時 |
| 4. 午後6時以降 | 5. 特に定まっていない | |

問4. あなたがこの3ヶ月間に川崎市立図書館を利用した際の滞在時間について伺います。1回のご利用の滞在時間はどの程度でしたか。当てはまる番号を1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------------|---------------|
| 1. 30分未満 | 2. 30分～60分未満 | 3. 60分～120分未満 |
| 4. 120分以上 | 5. 滞在時間が一定ではなかった | |

問5. あなたがこの3ヶ月間に川崎市立図書館を利用した主な目的は何ですか。当てはまる番号を全て選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1. 本を借りる | 2. 雑誌を借りる |
| 3. CDを借りる | 4. 家族のために本・雑誌・CDを借りる |
| 5. 館内で本を読む | 6. 新聞や新刊雑誌を読む |
| 7. 予約やリクエストをする | 8. 読書相談をする |
| 9. 図書館のパソコンでインターネットを使う | 10. 趣味や娯楽、生活のための調べ物をする |
| 11. 勉強や仕事、研究のための調べ物をする | 12. 地域社会での活動に役立つ調べ物をする |
| 13. テーマに沿った特集コーナーや本の展示を見る | 14. おはなし会に参加する |
| 15. 雰囲気を楽しむ・居場所として | |
| 16. 外部機関のデータベースを使う(国立国会図書館、新聞記事など) | |
| 17. その他() | |

問5の2.

問5の中で、これまで利用したことはないが、今後利用してみたいものはありますか。当てはまるものの全ての番号を書いてください。

()

問6. あなたが、これからの川崎市立図書館に必要なと思うのはどんなことですか。当てはまる番号を全て選び、番号に○をつけてください。

※選択肢の中には、現在行っていないサービスもあります。

【資料や相談に関すること】

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 本の充実 | 2. 雑誌の充実 |
| 3. 新聞の充実 | 4. CDの充実 |
| 5. 新聞記事など外部機関のデータベースの充実 | 6. 電子書籍による本の貸出 |
| 7. 調べ物や読書などの相談ができる職員 | 8. さまざまな講座・講演会の実施 |
| 9. さまざまな分野の専門家を招いた相談会の実施(法律相談、子育て相談など) | |
| 10. その他() | |

【使いやすさに関すること】

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1 1. より身近な場所での本の貸出・返却が可能 | 1 2. 開館時間の延長 |
| 1 3. 館内での飲食が可能 | 1 4. グループで閲覧席の利用が可能 |
| 1 5. 本の利用を優先した閲覧席が確保されている | 1 6. 閲覧席以外に、本を読む椅子がある |
| 1 7. 子どもを連れて利用しやすい | 1 8. 障がいのある人や高齢者も利用しやすい |
| 1 9. ゆったりと過ごせる雰囲気がある | 2 0. Wi-Fiの利用が可能 |
| 2 1. 図書館アプリを活用した図書館サービス | 2 2. 館内での会話が可能 |
| 2 3. その他 () | |

【図書館を身近に感じられる取組に関すること】

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 2 4. 本に関係するイベントなどの実施 | 2 5. 自分が住むまちの情報の充実 |
| 2 6. より身近な場所に図書館が出張 | 2 7. 地域でのつながりの支援 |
| 2 8. その他 () | |

問6の2.

問6の選択肢について具体的なアイデアがあれば教えてください。

番号	アイデア

ここから先は、あなたのことについて伺います。

問7. あなたの年齢を教えてください。

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 10～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 |
| 6. 60～69歳 | 7. 70～79歳 | 8. 80～89歳 | 9. 90歳以上 | |

問8. あなたに当てはまる番号を1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 川崎市に在住している | 2. 川崎市外在住で、市内に通勤・通学している |
| 3. その他 | |

問9. あなたのお住いの地域を1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|--------------------|--------|-------------------|--------|
| 1. 川崎区 | 2. 幸区 | 3. 中原区 | 4. 高津区 | 5. 宮前区 |
| 6. 多摩区 | 7. 麻生区 | 8. 横浜市 | 9. 川崎市・横浜市以外の神奈川県 | |
| 10. 東京都 | 11. 神奈川県・東京都以外の道府県 | | | |

問10. あなたの主な仕事等を1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 小・中学生 | 2. 高校生 |
| 3. 短大生・専門学校生・大学生 | 4. 自営業主 |
| 5. 自営業の手伝い（家族従業者） | 6. 会社などの経営者・役員 |
| 7. 会社などの従業員（全日） | 8. 会社などの従業員（短時間） |
| 9. 家事専業 | 10. 無職（収入が年金のみの方を含む） |
| 11. その他 | |

問11. あなたが、仕事・学業以外で現在行っていることはありますか。当てはまる番号を全て選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 子育て（小学校入学前の子ども） | 2. 家族の介護 |
| 3. 町内会・自治会活動 | 4. 市民活動・ボランティア活動 |
| 5. 求職活動 | 6. 資格取得活動 |
| 7. 趣味などのサークルに入っている | 8. 習いごとをしている |
| 9. 特になし | |

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただきありがとうございました。

令和元(2019)年度
川崎市立図書館利用者アンケート 報告書

令和2(2020)年3月発行

発行 川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課

〒210-0004 川崎市川崎区宮本町6番地

電話 044-200-3303

ファクス 044-200-3950

e-mail 88syogai@city.kawasaki.jp



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市